

総武支部 活動報告

総武支部長 広川 毅

《一年を振り返って》

●第14回手話を考えるフォーラム2014 in 八千代

「めざそう、つなごう、手話の権利と擁護！」

「第14回手話を考えるフォーラム」は総武支部が主管となり、平成26年9月6日(土)・7日(日)八千代市の東京成徳大学にて開催した。

開催地の八千代市を中心に、総武支部内6市で実行委員会を立ち上げ、力を結集し、準備・運営を行った。当日は約280名の参加がありました。

小中栄一全日本ろうあ連盟副理事長の講演「手話通訳事業の新しい制度のあり方」や、「センター」「サークル」「システム」「医療」の4つの分野からテーマに沿って、分科会に分かれて2日間にわたる討論を行った。現行の地域生活支援事業(コミュニケーション支援事業)では、各市の地域格差が発生の課題があり、取り組んでいくことを確認した。

今回、大学キャンパスでの開催は初めてあり、参加者は一時の学生経験を楽しめた。

●任意学習会『触手話と盲ろう者』

総武支部の任意学習会は平成26年11月29日(土)習志野市大久保公民館にて「触手話と盲ろう者」をテーマにて行った。当日の参加者人数は22名。

盲ろう当事者の村岡寿幸氏、触手話通訳者の平岩幸子氏(ろう)より講演して頂いた。触手話は、「ろうベースの盲ろう者」のコミュニケーション手段であり、私たちろう者のイベントにもみられる。触手話通訳は【コミュニケーションの通訳】【状況説明】を行うなど、私たちの使っている手話や手話通訳との違いを学んだ。今後、行事開催の際、盲ろうの参加者への配慮について勉強になった。

●25年度の会費値上げ以降について

25年度に県会費の値上げが実施され、24年度163名から、25年度138名、26年度124名と会員数の減少が食い止めることは出来なかった。

27年度は、関東ろう者大会の千葉県開催を会員拡大の一つの手がかりとし、支部及び各市協会役員による入会の声かけを積極的に行い、24年度の会員数の回復をめざしたい。

《事業報告》

●平成26年度支部評議員会

日 時) 平成26年4月20日(日)

会 場) 総合福祉保険センター(鎌ヶ谷市)

参加者) 15名

内 容) 手話を考えるフォーラム開催に向けての勉強会を経て、実行委員会を設立した

●義務研修会(ろう運動の取り組み)

日 時) 平成26年8月2日(土)

会 場) 市川中央公民館(市川市)

参加者) 18名

内 容) 「これからのろう運動としての取り組みの視点はどうか」の
標題で「運動」と「広域性」の関わりについて学習した。

危機管理体制構築、設置手話通訳者制度、手話通訳派遣事業等

講 師) 植野圭哉氏

●ボウリング交流会

日 時) 平成27年2月14日(土)

会 場) 本八幡スターレーン(市川市)

参加者) 29名

内 容) 支部会員同士の交流の機会を設けるため、ボウリング大会を企画した。

◆役員会

日 時) 隔月1回、最終月曜日に実施

会 場) 船橋市市民活動サポートセンター(船橋市)

内 容)

第1回	平成26年	5月26日(月)	13名
第2回	平成26年	7月28日(月)	10名
第3回	平成26年	9月29日(月)	10名
第4回	平成26年	11月25日(火)	10名
第5回	平成27年	1月27日(月)	10名
第6回	平成27年	3月30日(月)	10名

◆第 14 回手話を考えるフォーラム 2014 実行委員会

平成 26 年 4 月 20 日（日）の評議員会にて、開催等の学習会を行い、実行委員会を立ち上げた。以降、毎月第 3 木曜日に実施

平成 26 年 9 月 6 日（土）7 日（日）、第 14 回手話を考えるフォーラム 2014（東京成徳大学_八千代市）で開催

◆第 32 回東葛飾地区ろうあ者ソフトボール大会

会場所在地の印西市聴覚障害者協会（葛北支部）の協力を得て準備を進め、無事に開催することが出来た。平成 26 年 9 月 28 日（日）印西市松山下公園野球場にて実施。

◆総武ブロックによる街頭カンパ

平成 26 年 6 月 8 日（日）	市川市	：カンパ金額・167,061 円
平成 26 年 8 月 3 日（日）	八千代市	：カンパ金額・112,614 円
平成 26 年 10 月 11 日（土）	浦安市	：カンパ金額・51,582 円